



# OLIVE ニュース 4月 2019

月刊紙

【5月の予定】 9日ボランティア協議会見学 11日 避難訓練 16日誕生会

## 新たな始まり

今年度の始まりは新元号発表が重なり例年になく印象的なスタートとなりました。

平成元年に小規模作業所として利用者支援を開始した愛篤福祉会の活動は平成と共にあったと言って過言ではありません。

その間に障がい者本人も支えるご家族も年を重ねており、ご家庭からは「家族みんなで障がいのある子を支えてきたのに家族の独立などで母と二人暮らしになった」とか「親も子も頻繁に通院するようになった」等の声が届きます。

これらに応えられるよう愛篤福祉会はKAKA, s FACTORY敷地内で共同で暮らすことができる施設を理事会承認のもと計画中です。また「一人暮らしが可能なので由仁町内で自立した生活をしたい」と希望する方の話も進めております。新たな時代が始まる今、これらの計画を愛篤福祉会が数年内に実現する事業として進めてまいりたいと考えます。

法人事務局

## 景色が広がりました

福島県にお貸ししていた工房阿列布前の仮設住宅が撤去され元の広場に戻りました。震災前のように天気の良い日は小名浜方面まで見通せるようになりました。更地となった場所は早速、生活介護の利用者の皆さんが日課のウォーキングを行っています。



## 配布文書のお知らせ

今年度から配布文書はひと月分をまとめてお渡しするように致します。来月の予定や翌月の給食献立表も同封いたしますので予定把握にお役立てください。尚、連絡帳の使用は無くなります。

## 緊急時の電話連絡について

事業所から電話連絡をした時に、なかなかつながらない事があります。携帯電話の電源等は再度ご確認ください。また指定した緊急連絡先が変わった場合は早急にお知らせください。ご協力おねがいたします。

## 【気持ちをひとつに】

入所式の最中に新元号の発表がテレビ中継されました。一つの出来事でその場にいる全員がテレビの画面を見守る事はそうそうありません。「令和」と発表されると拍手や歓声が上がリ隣の人と元号について話す姿にここにいる皆で共に過ごしていく大切さを改めて感じました。どうぞ皆様、新年度もよろしくお願いたします。(管理者 佐藤 央庸)

